

内部評価シート(平成28年度執行事業)

1 基本情報	①事業名	市民活動支援事業			②事業No.	113
	③担当部署	市民活動支援課		④事業の性格	⑤評価対象 対象	
	⑥事業手法	直営	あり	委託	なし	
		補助等	あり	職員の負担度合	40%	
	⑧事業年度	H28 ~ H28		⑨終期の設定	なし	
	⑩事業対象者数	86,861 人		⑪対象割合	100%	
	⑫位置付け	市民参加のまちづくり基本条例の目的を果たすために行う事業				
	⑬他自治体の実施状況	ほぼ全ての自治体が行っている。				
	⑦ 予算情報	主要・非主要		主要事業		
		現年度・繰越明許		現年度予算		
会計		01	一般会計			
款		02	総務費			
	項	01	総務管理費			
	目	11	市民活動振興費			

2 事務事業の概要	⑭目的								
	協働の担い手となる市民活動団体の育成を行う。								
	⑮取組内容・実績								
	16団体に元気なまちづくり補助金を交付し、8団体にアドバイザーを派遣した。								
	⑯ 評価指標	⑯ 指標1 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度	
		元気なまちづくり補助金交付額	千円	2,633	3,298	3,930	4,000	平成30年度	
		指標2 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度	
	アドバイザー派遣件数	人	2	8	9	10	平成30年度		
⑰評価指標の増減・維持理由等									
予算の範囲内で、団体の課題を正確に捉え、その解決に向けた支援を行っていったため。									
⑱成果									
多くの団体の自立や活動の活性化につなげることができた。									

(単位:円)

3 コスト	項目/年度	H27	H28	H29	備考	
	⑲予算現額	5,741,000	5,093,000	7,089,000		
	⑳決算額	3,608,560	4,328,730	7,000,000		
	㉑予算執行率	63%	85%	99%		
	㉒ 財源内訳	一般財源	3,608,560	4,328,730	6,993,000	
		国県支出金	0	0	0	
		市債	0	0	0	
その他		0	0	7,000		
㉓コストの増減理由・見込み等						
事務補助非常勤職員人件費の移設(東日本大震災被災者支援室から)						

4 自己評価	⑳他事業との統合	㉕委託化	㉖補助金化	㉗民間での実施	㉘その他
	不可	検討中	不可	不可	
	㉙課題・今後の方向性				
	団体が多様化しているため、制度の在り方や支援の領域を整理する必要がある。また、引き続き市民活動センター(平成27年度閉館)と連動して事業を展開していく必要がある。				
㉚担当課の評価					
A:現状維持	多くの団体の活性化に寄与することで、まちの元気につながっており、また、市が直接行うことが困難な分野の公益活動の展開につながっているため、継続が必要である。				

5 財務部	㉛財務部の評価				
	B:見直し	制度の在り方、支援を受けた団体の活動の追跡調査などにより、費用対効果を検証する必要がある。市民活動センターへの委託事業とできないか、また、アドバイザー制度など、市民活動センターとの連携の中で廃止を検討すること。			

内部評価シート(平成28年度執行事業)

1 基本情報	①事業名	シニアカレッジ講座運営事業			②事業No.	961
	③担当部署	生涯学習課		④事業の性格	⑤評価対象 対象	
	⑥事業手法	直営	あり	委託	なし	
		補助等	なし	職員の負担度合	10%	
	⑧事業年度	H28 ~ H28		⑨終期の設定	なし	
	⑩事業対象者数	86,861 人		⑪対象割合	100%	
	⑫位置付け	総合計画における生涯学習の推進に寄与する事業				
	⑬他自治体の実施状況					
	⑦ 予算情報	主要・非主要		非主要		
		現年度・繰越明許		現年度予算		
会計		01	一般会計			
款		10	教育費			
	項	04	社会教育費			
	目	03	公民館費			

2 事務事業の概要	⑭目的						
	高齢者が楽しく生きがいを持って地域社会のさまざまな活動に参加できるような意識づくりを目的とし、学習活動の一環として実施。						
	⑮取組内容・実績						
	募集チラシを各コミュニティセンターや公共施設等に設置し、過去受講者にも配布。年間で13講座75回を開講。受講者数は213人、延べ人数は947人。						
	⑯ 指標1 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度
	指標2 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度
	⑰評価指標の増減・維持理由等						
	⑱成果						
	「俳句」と「将棋」の講座については社会教育団体の登録に発展し、継続した交流活動の場としての新たなコミュニティづくりに貢献できた。						

(単位:円)

3 コスト	項目/年度	H27	H28	H29	備考
	⑲予算現額	1,030,000	1,018,000	874,740	
	⑳決算額	770,117	688,996		
	㉑予算執行率	75%	68%	0%	
	㉒ 一般財源	770,117	688,996	0	
	国県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
㉓コストの増減理由・見込み等					

4 自己評価	⑳他事業との統合	㉕委託化	㉖補助金化	㉗民間での実施	㉘その他
	不可	不可	不可	不可	
	㉙課題・今後の方向性				
	歴史分野の講座は開講しなかったが、アンケートではニーズが高いため、今後実施していく予定である。今年度実施した講座で継続を要望されている講座も多いので、受講者の声を聞きながら運営をしていく。				
㉚担当課の評価					
A:現状維持		柏崎市の生涯学習を推進するために必要な事業である。			

5 財務部	㉛財務部の評価				
	B:見直し	目標指標の設定がなく、費用や労力に見合った効果となっているのか検証することが難しい。事業を継続することの合理性を見出すことが難しいため、市民ニーズに見合った事業規模への見直しを図ること。			

内部評価シート(平成28年度執行事業)

1 基本情報	①事業名	エイジレス講座運営事業			②事業No.	962
	③担当部署	生涯学習課		④事業の性格	⑤評価対象 対象	
	⑥事業手法	直営	あり	委託	なし	
		補助等	なし	職員の負担割合	10%	
	⑧事業年度	H28 ~ H28		⑨終期の設定	なし	
	⑩事業対象者数	86,861 人		⑪対象割合	100%	
	⑫位置付け	総合計画における生涯学習の推進に寄与する事業				
	⑬他自治体の実施状況					
	⑦ 予算情報	主要・非主要		非主要		
		現年度・繰越明許		現年度予算		
会計		01	一般会計			
款		10	教育費			
	項	04	社会教育費			
	目	03	公民館費			

2 事務事業の概要	⑭目的							
	年齢を問わない枠組みの中での学習機会を提供していくことを目的とし、各種講座を実施する。							
	⑮取組内容・実績							
	広報やチラシ配布等で講座案内を行い、受講者を募集する。年間38講座、574人が受講した。							
	⑯ 評価指標	⑯ 指標1 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度
		指標2 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度
	⑰評価指標の増減・維持理由等							
	⑱成果							
	幅広いジャンルで講座を企画し、実施したことにより、リピーターだけでなく、新規受講者も増加した。年度末には、学習成果を発表する機会を設け、受講者が達成感を得ることができた。							

(単位:円)

3 コスト	項目/年度	H27	H28	H29	備考	
	⑲予算現額	1,850,000	1,480,000	1,480,000		
	⑳決算額	1,559,572	1,120,553			
	㉑予算執行率	84%	76%	0%		
	㉒ 財源内訳	一般財源	1,559,572	1,120,553	0	
		国県支出金				
		市債				
		その他				
㉓コストの増減理由・見込み等						

4 自己評価	⑳他事業との統合	㉕委託化	㉖補助金化	㉗民間での実施	㉘その他
	不可	不可	不可	不可	なし
	㉙課題・今後の方向性				
	若年層と男性受講者を増やすための検討が必要である。				
㉚担当課の評価					
A:現状維持 柏崎市の生涯学習を推進するために必要な事業である。					

5 財務部	㉛財務部の評価				
	B:見直し	目標指標の設定がなく、費用や労力に見合った効果となっているのか検証することが難しい。事業を継続することの合理性を見出すことが難しいため、市民ニーズに見合った事業規模への見直しを図ること。			

内部評価シート(平成28年度執行事業)

1 基本情報	①事業名	市民大学運営事業			②事業No.	922	
	③担当部署	生涯学習課		④事業の性格	⑤評価対象 対象		
	⑥事業手法	直営	あり	委託	なし		
		補助等	なし	職員の負担度合	10%		
	⑧事業年度	H28 ~ H28		⑨終期の設定	なし		
	⑩事業対象者数	86,861 人		⑪対象割合	100%		
	⑫位置付け	総合計画における生涯学習の推進に寄与する事業					
	⑬他自治体の実施状況						
					⑦ 予算情報	主要・非主要	主要事業
						現年度・繰越明許	現年度予算
				会計		01	一般会計
				款		10	教育費
				項	04	社会教育費	
				目	01	社会教育総務費	

2 事務事業の概要	⑭目的							
	さまざまな知識を学ぶ機会を提供することで、学ぶ喜び・楽しみから心の豊かさや生きがいの発見へとつなぎ、学習者の自己実現や豊かな人生を目指す。							
	⑮取組内容・実績							
	前期4講座、後期8講座のほかに特別講座を3回開催した。大学や関係機関などと連携し、柏崎市の歴史や文化財をはじめ、地元企業や自然災害、国際問題等幅広いテーマで講座を実施した。							
	⑯ 指標1 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度	
	指標2 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度	
⑰評価指標の増減・維持理由等								
⑱成果								
さまざまな知識を習得する機会を提供することにより、学ぶ喜びや楽しみ、生きがいにつながった。								

(単位:円)

3 コスト	項目/年度	H27	H28	H29	備考
	⑲予算現額	1,385,000	1,248,000	1,254,000	
	⑳決算額	1,021,991	872,016		
	㉑予算執行率	74%	70%	0%	
	㉒ 財源内訳	1,021,991	872,016	0	
	一般財源				
国県支出金					
市債					
その他					
⑲コストの増減理由・見込み等					
企画運営スタッフへの報酬や講師への謝金の増減のため					

4 自己評価	⑳他事業との統合	㉑委託化	㉒補助金化	㉓民間での実施	㉔その他
	不可	不可	不可	不可	
	㉕課題・今後の方向性				
	多世代のための学習機会を企画し、特に若年層や男性の受講を増やすための検討が必要である。				
㉖担当課の評価					
A:現状維持 柏崎市の生涯学習を推進するために必要な事業である。					

5 財務部	㉗財務部の評価				
	A:現状維持 ただし、受講者のニーズや費用対効果を検証すること。				

内部評価シート(平成28年度執行事業)

1 基本情報	①事業名	ふるさと応援事業			②事業No.	83	
	③担当部署	ものづくり・元気発信課	④事業の性格		⑤評価対象	対象	
	⑥事業手法	直営	あり	委託	あり	主要・非主要	主要事業
		補助等	なし	職員の負担度合	40%	⑦現年度・繰越明許	現年度予算
	⑧事業年度	H20 ~ H28	⑨終期の設定	なし	⑦会計	01	一般会計
	⑩事業対象者数	86,861 人	⑪対象割合	100%	⑦款	02	総務費
	⑫位置付け	総合計画における柏崎の魅力発信事業			⑦項	01	総務管理費
	⑬他自治体の実施状況	県内すべての市町村で実施			⑦目	07	企画費

2 事務事業の概要	⑭目的						
	ふるさと納税の仕組みを活用し、シティセールスの観点から寄附者拡大による税収の増及び地域産業の活性化を目的とする。						
	⑮取組内容・実績						
	平成26年度からふるさと納税を推進するため、若手職員によるプロジェクトチームを結成。28年度は、首都圏で働く女性をターゲットにしたお礼品公募を行い、お礼品のリニューアルに取り組んだ。						
	⑯評価指標	指標1 名称	単位	H27	H28	H29	目標値
	寄附金額	円	47,501,000	54,868,001	100,000,000	100,000,000	平成29年度
	指標2 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度
	⑰評価指標の増減・維持理由等						
	全国的にふるさと納税のマーケットが大きくなる中、柏崎市においても全国的な市場の伸びに合わせて堅調に増加している。						
	⑱成果						
	若手職員のプロジェクトチームによる魅力あるお礼品のリニューアル等の効果が見られ、27年度の寄附金額に対し28年度は115%の伸び率となった。						

(単位:円)

3 コスト	項目/年度	H27	H28	H29	備考	
	⑲予算現額	26,397,000	36,086,046	32,113,000		
	⑳決算額	23,249,417	36,086,046	32,113,000		
	㉑予算執行率	88%	100%	100%		
	㉒財源内訳	一般財源	23,249,417	36,086,046	32,113,000	
		国県支出金				
市債						
その他						
	㉓コストの増減理由・見込み等					
	ふるさと納税の寄附額が多くなれば、それに伴う支出額が増える仕組みとなっているため、今後増えていくものと思われる。					

4 自己評価	⑳他事業との統合	㉕委託化	㉖補助金化	㉗民間での実施	㉘その他
	不可	済	不可	不可	なし
	㉙課題・今後の方向性				
	ふるさと納税の制度がある以上は継続して取り組んでいくが、単に税収の増加のみならず制度がなくなった場合も視野に入れ、事業者の販路拡大といった視点で事業者にも意識改革を促していく。				
	㉚担当課の評価				
	A:現状維持	総務省からのお礼品の見直し要請を踏まえると、市場が縮小する可能性もある。本来の制度の趣旨に沿った形で寄附金を募っていくためには、より具体的な政策に対して寄附を募ることも検討していく必要がある。			

5 財務部	㉛財務部の評価				
	B:見直し	寄附額の増加による予算増はやむを得ないが、事業展開の検証を行い、委託先の変更も含めた事業者、お礼品の不断の見直しを行うべきである。			

内部評価シート(平成28年度執行事業)

1 基本情報	①事業名	食の地産地消啓発事業			②事業No.	514		
	③担当部署	農政課		④事業の性格	⑤評価対象	対象		
	⑥事業手法	直営	あり	委託	あり	主要・非主要	主要事業	
		補助等	なし	職員の負担度合	70%	⑦現年度・繰越明許	現年度予算	
	⑧事業年度	H28 ~ H28		⑨終期の設定		会計	01 一般会計	
	⑩事業対象者数	86,861 人		⑪対象割合	100%	款	06 農林水産業費	
	⑫位置付け	柏崎市食の地産地消推進条例に基づく事業					項	01 農業費
	⑬他自治体の実施状況	地産地消計画は県内の多くの自治体で実施					目	03 農業振興費

2 事務事業の概要	⑭目的							
	食の地産地消推進計画を実行するため、イベント等で周知啓発を実施して市民の食の地産地消への理解を深める。							
	⑮取組内容・実績							
	・地場産ランチフェア(7月・10月)延べ36店舗 5,087食提供 ・ぱくもぐフェア(10月23日) 入込客数約2万1千人 ・枝豆収穫体験(8月9日)参加者数25人 ・茎ワサビ、オータムポエム収穫加工体験(1月28日)参加者数17人							
	⑯評価指標	指標1 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度
		ぱくもぐフェア入込客数	人	20,000	21,000	23,000	23,000	平成29年度
		指標2 名称	単位	H27	H28	H29	目標値	目標年度
		収穫体験実施回数	回	2	2	2	2	平成29年度
	⑰評価指標の増減・維持理由等							
	ぱくもぐフェアは、平成26年度の第1回開催から市民の認知度が増してきている。収穫体験は、農家との調整もあり、2回実施を維持している。							
⑱成果								
イベントを通じて市民の地産地消の認知度が徐々に高まってきている。また、生産者や飲食店の取組参加者の拡大と生産者、飲食店及び消費者間の交流の場が提供できた。								

(単位:円)

3 コスト	項目/年度	H27	H28	H29	備考	
	⑲予算現額	9,875,000	4,563,000	5,420,000		
	⑳決算額	8,499,852	3,768,663	5,380,000		
	㉑予算執行率	86%	83%	99%		
	㉒財源内訳	一般財源	8,073,435	3,767,968	4,380,000	
		国県支出金	0	0	0	
		市債	0	0	0	
		その他	426,417	695	1,000,000	
	㉓コストの増減理由・見込み等					
	平成27年度は非常勤職員1人の雇用とぱくもぐフェア会場の整備(原材料費)を計上していたが、平成28年度から削減した。平成29年度予算が前年度から増額となった主な原因は、農業まつり負担金分をぱくもぐフェアに計上したため。					

4 自己評価	⑳他事業との統合	㉑委託化	㉒補助金化	㉓民間での実施	㉔その他	
	可	可	可	可	実行委員会形式	
	㉕課題・今後の方向性					
	今後とも食の地産地消の理解を深めるため、周知啓発活動の継続的な取組が必要である。					
㉖担当課の評価						
A:現状維持	地産地消推進のためには事業の継続が必要である。今後は現在、同時開催している市直営の「ぱくもぐフェア」とJA柏崎が事務局を務める「農業まつり」を一本化して柏崎市の食の一大イベントにする必要がある。					

5 財務部	㉗財務部の評価				
	B:見直し	食の一大イベントとしての一歩化を図った上で、市が大部分の経費を負担している現状から、出店者から応分の負担金を得て実施する形態にシフトしていくべきである。			